三号についてのモニター意見から

（回答状況：学生六名、教職員九名、学外四名）

★表紙などの印象

学生　「色調に富み、新鮮さを感じさせる」、「色調も美しく、メルヘンチックな仕上がり。もっと幅広く作品を募集したらどうか」

教職員　「表紙のデザインが変わってから、いつも表紙を楽しみにしている」、「モニター意見を読むと酷評もあったようだが、時代の先端を行く大学の広報誌だから、表紙のデザインも時代に合ったイメージのものを追求するべき」、「全体として硬い感じで、学生になじみにくいのでは。活字を減らす方向も考えるべき」、「大学の広報誌らしくないが、なんとなく楽しい」、「モダンでかつ美しく良い。世界の大学の写真に撮影者の名前や時を入れたらどうか」

学外　「ロゴマークがスマートになった」、「必ず開いて目を通したいと思わせる工夫がなされている」

★特集「図書館の一元化」、「新機軸の大学祭」について

学生　「よい題材だ。先生方が言われていることが実現できるか、興味深い」、「西川先生の意見に共感した。情報機能の充実の第一歩として、迅速に文献検索ができるようにしてほしい。検索・利用機器の高度化や多様化にともない、もっと分かりやすいマニュアルを置いてほしい」、「図書館は学生用の図書の充実に重点をおくべき」、「図書館ユーザーの意見をもっと取り上げて欲しかった」

教職員　「図書館のあり方についての問題提起としての意味は大きい。座談会の顔写真がおそまつ」、「情報化社会化が進む中で、図書館の果たす役割に大きな期待を抱いている。開館時間はせめて夜九時までにならないだろうか」、「校費での書籍の購入システムは、図書館を通すため、時間がかかりすぐ手に入らない。何とかもっと早い対応はできないか」、

「一元化の問題点がよくわかった。今後、各部局での議論に発展することが望まれる。その火付け役にフォーラムがなると意義が深まる。大学祭は霞祭、東雲祭などの紹介も欲しかった」、「図書館の一元化は結構だが、管理のための一元化にならないように」

学外　「学長が大学の環境整備を強調されるのはうれしい」、「大学祭は、学生の言い分も載せてほしかった」

★「開かれた学問」について

学生　「『心理的時間』は興味深く読めた。このコーナーではもっと読者の次元に近づいた書き方を工夫してほしい」、「学長の記事は文章が平易で読みやすいうえ、興味深い内容となっている。次が楽しみだ。生首の写真は載せないでほしいと私の友人は言っていたが…」

教職員　「『心理的時間』はとても興味深く読んだ」、「専門外の人間にもわかりやすく書かれてあった」、「市場経済など、これからの経済動向が理解できるテーマを掲載して欲しい」、「会計学などの用語は、簿記などをある程度知っていなければ、理解できないと思う。図や脚注があると良かった。学長講演は思わず写真に目が止まり、興味深く読んだ。次号が楽しみ」

学外　「もう少し紙面を増やしたら」

★「留学生の眼」について

学生　「ペルーから来ているのを知り、いろんな国からの学生が広大にいることを認識した」、「ペルーでは完全にペルー人とはされず、日本では当然日本人ではないとされた、というのを読んで、ちょっと心が痛くなった」、「日本社会の閉鎖性を痛感させられた」、「イトウさんのものはちょっとした小論文みたいな感じで面白かった」

教職員　「いろんな国の留学生をとりあげてほしい。ペルーからの留学生はよかった」、「指導教官の目を意識してか、きれいごとに思える表現がある。匿名でよいから『留学生一一〇番』的な本音の苦労を取り上げたら」、「毎号似たようなタイプが多いが、イトウさんのは、日系人の複雑な状況をかい間見る気がして、読み甲斐があった」

学外　「私は日本のここが嫌いといったひとつのテーマで書いてもらったら面白いのでは」

★要望など自由意見

学生　「新連載のフォトエッセーがよい。キャンパスの草花に目がいくようになった」、「今回のように身近なテーマを取り上げて下さい。まだまだフォーラムと一般学生の距離は遠いように思う」、「編集後記が面白い」、「学長インタビューは学生がやったら面白いのでは」、「移転問題をもっと扱うべき」

教職員　「フォトエッセーは今後何が掲載されるか楽しみ。キャンパスライフを豊かにする上で、よい企画」、「Photo Essay　大変楽しい。豊原先生には数回続けて欲しい！」、「各学部の紹介や図書館、情報処理センターとかの設備の紹介をしてほしい」、「移転後の附属学校をどうするのか」、「大学間、学部間の国際交流の現状紹介をしてほしい」、

「Academic Core　内の自然林の下草刈りを！（事務当局へ）」、「西条キャンパスの野犬問題は、まさに人間の身勝手さが生んだ事件。霞キャンパスでは毎日ハトに大量の餌をやる人がいて将来の悪影響を危惧している」、「人事（教官・事務官）の適正配置について特集してほしい。現在までだれも手をつけられないほど、根の深い、また差し迫った問題である」

学外　「（報道された広大）は外部にどう伝えられたかを知るうえで、貴重なデータになる。続けてほしい」

学外モニターからの意見

新潟大学教授
雑誌「ミクロスコピア」編集長
藤田恒夫

★本誌の印象　表紙、誌面のレイアウトとデザインは、この種の国立大学の広報としてはレベルを大きく抜いている。すべての誌面で成功しているとは言えなくとも、すべての誌面のすみずみまで、デザイン・レイアウトの神経が行きとどいている、という点が素晴らしい。写真部など、写真の好きな学生を起用して、さらに顔写真、会議のスナップなどの写真の質を上げては如何。

★特集記事　図書館の一元化についてのジレンマなど、よくまとめられている。大学院生古田智子さんの意見も共感を誘ったが、ここに記された希望や提案の実現の検討なども、次号で読みたいと思った。「開かれた学問」など片木氏の語り口より、松田氏のそれが「開かれた」感じがする。

原田康夫学長の大学の起源やパヴィア大学での経験の話は、この号の最高のハイライトとして楽しんだ。その中で、大学／文化が都市／世俗の雑踏の中から生まれるとの指摘は、都市から離れた郊外の「緑の中で」学生を育てようする現今日本の大学の傾向に反するが、私の持論にはピッタリ合う。

★「留学生の眼」　ディアナ・イトウさんの記事も、李　文龍氏の意見も、抱負と失望、賞賛と批判が交錯して、率直で好感のもてる、読みものになっている。

★今後の記事　編集者の舵とりと、自然発生的な話題の広がりの、バランスがうまくとれて、ますます愉しく充実したフォーラムになることを期待します。

☆報道された広大

#マレーシアの学術調査団、留学生　事前教育は？　広島大教官らと意見交換（中国、9・29）

#日本機械学会が東広島で全国大会、あすから　展示会も（中国、朝日、10・1）

#広島大学、10月上旬、法・経学部校舎を着工（広島経済レポ、10・2）

#惑星探索など先端技術紹介　広大で日本機械学会（中国、10・3）

#文化＝アジア留学生の見た異文化ニッポン(2)　難しい言葉のニュアンス、日本の文法と対照研究、広大文学部大学院　金　恩希さん（中国、10・5）

#霊気感じる読みの芸術、アンゼルム・キーファー展をみて、圀府寺　司　広島大総合科学部教授（中国、10・5）

#大学と地域共に発展、学園都市シンポで提言、東広島市（中国、10・5）

#白壁・かやぶき農家…移り変わる賀茂台地描く、広大職員景山さん、「古里に愛着」、15日から個展（中国東広島版、10・5）

#南アの実状や現地体験報告、中区で広大院生（中国、10・7）

#でるた＝初心にたちかえる　秋山住子（広島大学職員）（中国夕刊、10・7）

#きょう広大で遺伝子講演会、西条キャンパス（中国、10・8）

#分子構造討論会開く、広大西条キャンパス（中国、10・9）

#チェルノ被爆　がんの子供救おう、日本から手術チーム、広大・武市講師らキエフへ（中国、10・10）

#ア大会　性別チェックお任せ、特定遺伝子有無で診断、100%近い確度に向上、広島大医学部（中国、10・11）

#ここが聞きたい＝高校生向け数学入門講座を始める広島大理学部教授、松本堯生さん、自主的な学習の場に、才能より意欲を重視（中国、10・16）

#放射線技術の医療応用探る、広島で学術大会（中国、10・16）

#無料どっさりそろえ留学生支援に6万点、広島大（朝日、10・18）

#広大など34団体に決定、マツダ研究助成（中国、10・19）

#?°+厳しく判定、新技術で確立100%近く、オス遺伝子に着目、広大研究室が開発（読売、10・20）

#ひとこと＝広島大医学部第二外科助教授　福田康彦さん（中国、10・21）

#広島で臨床病理学会総会（中国、10・21）

#教育のページ＝教員養成課題を探る、現場実習不十分では…、心の理解重要なのに、受け入れ側も負担大きく（中国、10・24）

#中国論壇＝西アフリカのエイズ問題、流行防止へ無策の日本、広大総合科学部教授　難波紘二（中国、10・25）

#献体者のめい福祈る、広大で慰霊祭（中国、10・28）

#思い思い描く賀茂台地の秋、31日に広大で写生大会（中国東広島版、10・28）

#西条で初の広大大学祭、きょうから（中国、10・29）

#小学生対象　ミニ土木博、あす広大（中国東広島版、10・30）

#60年代なら学園紛争!?、いま学祭冷戦々、大学側参入　分裂開催に、広島大（読売、10・30）

#チェルノブイリ被爆者救え、広島大講師ら現地で手術（読売、10・31）

#91年の台風19号被災、電線地中化の広島市中心部、塩害停電免れパニック防ぐ、周辺市民に便宜を提供、広島大の林助教授が調査（中国、11・1）

#中国文化賞＝岡　智氏、天然物アレルギーの治療法確立へ分子レベルで研究、喘息治療に道、学際的な研究で成果（中国、11・3）

#中国文化賞＝菅　隆幸氏、天然有機物の科学的研究に貢献、「香り物質」を解明、身近な自然界に熱い目（中国、11・3）

#今こそエイズ考えよう、広大医学部生がシンポ計画、13・14日「霞祭」、医師らの対応調査も（中国、11・3）

#コメ通じ国際交流、東広島市で広大留学生、「インディカ」刈り取り、かまやコンバインで400キロ、検査官を体験、「大変な作業」（中国東広島版、11・3）

#あす地元で初公演、広島大教育学部の音楽専攻学生ら、学長も自慢ののど披露、東広島（中国東広島版、11・4）

#「図書購入費に」と展示益金を寄付、東広島市に広大職員（中国東広島版、11・6）

#国際色豊かに産業祭、河内、留学生が「お国の味」販売（中国東広島版、11・7）

#広大本部新イベントの秋、学園祭に代わり「千田祭」、学生有志、地元商店街と協力（中国、11・7）

#広島大跡地利用　長い視点、学生・市民100人が討論会（中国夕刊、11・8）

#アジア刑政財団の奨学生、タイのバジュウブッカさん、司法テーマに講演、広島大（中国、11・9）

#ペスタロッチー教育賞、谷校長（北海道家庭学校）が受賞、少年らの社会参加に力（中国、11・9）

#広島で薬学シンポ開催（中国、11・12）

#チェルノ医療支援終え帰国、広大の武市講師ら（中国、11・13）

#広島のお医者さん、お寒いエイズ認識、広大生がアンケート、無断で検査11%、診療会費17%（中国、読売、11・14）

読者からの手紙

ひどすぎる千田図書館

千田の図書館はひどすぎる。夏までは本がまともに揃っていたが、夏休みに長期にわたって休館はするわ、あげくの果てには法学部関係の本が八割方消えており、残った本は使い勝手の悪いコメンタールだけ。

だいたい法学部の本を西条なんかに持って行って何になるのか。自習室の机も椅子も上等なものは全て西条に持って行っている。千田に限ってみれば、これほど休みが多く、蔵書レベルは最低で、机が汚い図書館は、日本中のどこにもない。

学生には本を読む権利を与えられないのか。授業料を払っているのだから、当然ある程度のサービスは受けられると期待する。同じ国立大学でも立派な図書館で、本を沢山読める大学も存在するのに、広大を選んでしまったばかりに、なぜこのような不当な不利益を受けねばならないのか。

このような問題は学生ひとりが何を言っても無駄であるから、ここにこそ新聞・雑誌の存在意義があるのだ。次号にぜひこの問題の記事を組んでいただきたい。図書館に遠慮して記事にしてもらえないのなら、広大フォーラムは二度と読まない。（学生、法学部）

附属図書館から

附属図書館は平成三年度末に中央図書館への第一回目の図書資料の移送をし、今年の夏には西図書館への移送を行いました。そして、今年度の末及び来年度にも移送を予定しています。準備及び移送後の配架等の作業には全員が携わりますが、どうしてもある程度の休館は必要です。当館の休館期間は他大学の移転時に比べてもそれほど長期ではなく、できるだけ短期間で実施するよう努力しているところです。

これまでに法学部の図書を西条地区へ持っていった事実はありません。今年の夏の移転時に本館の開架図書室の図書は西図書館へ移送しました。この中に法学関係の図書もありました。現在本館の開架図書室に配架している図書は書庫の中から出したものです。

図書館では、できるだけ移転する学部を考慮して図書の移送をするよう努力していますが、蔵書構成がすべての利用者に満足されるような配置計画が難しく、苦慮しているところです。書庫の中には法学関係の図書もかなり配架されていますのでご利用ください。

本館の自習閲覧室の閲覧机も夏の移転時にいくつか西図書館へ運びました。これは東千田地区では利用対象者が減少したことなどを勘案して行ったものです。指摘されている閲覧用の椅子については、西条に持って行った事実はありません。閲覧室の机や椅子が古く傷んでいるのは事実ですが、この時期に新しいものの調達は困難です。

今後の図書の移送その他図書館の運営につきましても、ご不便をおかけすることをできるだけ少なくし、よりよい図書館サービスをめざしたいと思いますのでご理解ください。